

薬剤師はこんなことを確認しています



薬局でいろいろなことを聞かれた経験があると思います。
みなさまの大切な情報は、薬を安全に、安心して使っている
ただのために必要となります。

なぜ質問されたかわからないときは遠慮なくお尋ねください。

● 今まで経験したアレルギー・副作用

今まで、アレルギーが出たことのある薬や副作用が出たことのある薬については、そのアレルギーや副作用の程度によっては薬を避けた方がよい場合があります。また、卵や牛乳など食べ物でアレルギーがある場合は、そのアレルギー物質を含んだ薬もあるので注意が必要です。今まで、アレルギーや副作用を起こしたことのある薬、また食べ物のアレルギーなどがあれば、必ず医師や薬剤師に伝えてください。



● 使っている薬

薬の中には、一緒に使用することにより副作用が出やすくなったり、薬の効果が弱くなったりすることがあります。これを相互作用といいます。使っている薬があれば、医師や薬剤師に伝えてください。



● 過去にかかったことのある病気（既往歴）や今の病気・疾患

既往歴や今の病気・症状により、そのときに使わない方がよい薬があります。もし、お渡しする薬の中に、既往歴や今の病気・症状に対して使ってはいけない薬がある場合は、お聞きすることがありますので、薬剤師にも症状などを伝えてください。



● 年齢・体重

お子さんの場合、年齢や体重によって薬の量が変わります。特に初めてその薬をお渡しするときや薬の量が増えたり減ったりしたときには、年齢や体重で薬の量が正しいかどうかを確認します。薬を安全に、安心して使うためにも、いつでも体重を答えられるようにしておくとうよいでしょう。



薬剤師は、より安全に安心して薬を使ってもらうために、このほかにも薬に関連することを確認しています。